

令和4年度アイヌ施策推進地域計画目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	目標年度
豊浦町	アイヌの人々が誇りと希望をもてる豊浦を目指すための施策推進地域計画	令和5年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における目標	目標値 (A)	実績値 (B)	達成率(%) (B/A)	備考
礼文華海浜公園利用者数	2,400人/年間	2,735人/年間	113%	
礼文華生活館利用者数	1,000人/年間	778人/年間	77%	
アイヌ文様ラッピングバス利用者数	12,800人/年間	14,241人/年間	111%	

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
礼文華海浜公園利用者数	アイヌ文化発信施設「イコリ」が開所され、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛が緩和されたことで、利用者が増え目標値を達成した。	
礼文華生活館利用者数	これまで礼文華生活館で実施していた行事などが、アイヌ文化発信施設「イコリ」やアイヌ文化体験交流施設で実施されたことで利用者が減ってしまい、目標に対して未達成となってしまった。	
アイヌ文様ラッピングバス利用者数	令和3年度に引き続き、礼文華・大岸コースを平日の毎日運行としたことにより、利用者の利便性が高まったことにより、利用者が増え目標値を達成した。	

【アイヌ施策推進地域計画における意見等】

- ・豊浦アイヌ協会、礼文華自治会等の意見を十分に聞き、事業展開を図る必要がある。
- ・礼文華及び本町にある魅力的なアイヌ文化を、世界まで届くよう情報発信を行う。
- ・礼文華地域住民を始め町民に対し、利便性などサービス向上に繋がるアイヌ施策の展開に取り組む必要がある。

2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

(1) アイヌ文化の保存又は継承に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
豊浦町アイヌ協会会員に対し、伝統儀礼の「カムイノミ・イチャルパ」で使用するイナウの制作について、自ら実施できるよう、令和4年度中に2回事業を実施した。	豊浦町
事業の効果	
伝統儀式「カムイノミ・イチャルパ」で使用するイナウ作成方法に加え、儀式の進行や儀式の意味などの指導を受けた。豊浦町アイヌ協会の（特に）若手に文化の伝承をすることができた。	

(2) アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
演出家であり、アイヌ民族の秋辺日出男氏が提唱した音楽祭を「イランカラプテ音楽祭 in 豊浦」として令和4年度に開催した。	豊浦町
事業の効果	
音楽祭の開催により、豊浦町内外から約100名の方が来場され、普段アイヌ文化に触れる機会が無い方にもアイヌ関連の音楽や舞踏を通じて、文化に触れることで、理解を深めてもらえた。	

(3) 観光の振興その他の産業の振興に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
アイヌ文化の情報発信拠点となる「イコリ」とアイヌ文化体験交流施設が完成し、令和4年4月29日に開所した。	豊浦町
事業の効果	
伝統儀式「カムイノミ・イチャルパ」やアイヌ文化伝承事業を、完成した施設で実施することで、より多くの方がアイヌ文化に触れる機会を作ることができたと考える。	

(4) 地域内若しくは地域間の交流及び国際交流の促進に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
令和4年度の礼文華生活館及びアイヌ文様ラッピングバスの利用者は、それぞれ1,000人/年間と12,800人/年間目標としており、礼文華生活館は目標未達成、ラッピングバスは目標を達成した。今後も更なる利用者増に向け、アイヌ民族含め地域の方々の意見を聞きながら事業を運営していく。	豊浦町
事業の効果	

生活館においては、令和4年度に完成したアイヌ文化発信施設「イコリ」とアイヌ文化体験交流施設の完成により、それまで生活館で実施していた行事等が新施設で実施される運びとなり、利用者が減ってしまった。

ラッピングバスにおいては、アイヌ民族を始め地域住民の方々にも行動範囲の拡大、利便性の向上が図られ、利用者数の目標を達成する結果となった。

3. 今後の方針等

豊浦町アイヌ文化施設運営委員会における意見等を踏まえ、アイヌの人々が誇りと希望を持てるような事業展開を図る。

また、事業実施に関わる関係者、豊浦アイヌ協会と意見交換を十分行い、また、連携を密にし、今後の事業を確実に実施していく。